

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (小寺三木三)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.2 億円
		急傾斜地崩壊対策事業 なか < 中(3)地区 >	篠山市 中		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
篠山市 中				H14年度	H15年度

事業目的	事業内容
<p>防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命を保護する。</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 340 m H = 4 m</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地崩壊危険箇所である。 ・保全人家戸数7戸、避難場所である大芋小学校、大芋保育所、県道、篠山丹波線及び町道がある。 ・斜面下部には岩が露出しているが、風化が著しく法裾部の崩壊が発生するなど斜面崩壊の危険性は高い。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・山村部の豊かな山並みは、地域の豊かな景観を構成するもので、保全効果は高い。 ・斜面对策工事により、緑の保全を図り住環境の向上を目指す。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・山村振興地域に指定されており、当該事業による生活環境の改善は大きい。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・保全人家戸数は7戸と少ないが、市の地域防災計画に位置づけられている避難場所の大芋小学校、及び災害弱者関連施設である大芋保育所があり、また公民館、県道、町道もあるなど、事業効果が大変高い。 ・事業実施に向け、地元の協力体制が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁工は化粧型枠の採用を検討し、自然になじんだ雰囲気にする。 ・斜面裾部を固定することにより、農村部の良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、保育所、公民館、県道、町道があり、事業効果が高い。 ・斜面下部の軟岩風化による土砂化等、次期崩壊に向け早急な防災対策が必要である。 ・地元要望が強く、市及び地元も協力的であり、事業の執行体制は整っている。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------